

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称： 厚木市農業協同組合（JA あつぎ）

協定締結日：2018/11/7

活動状況：継続中

連携先窓口：JA あつぎ組織文化部生活ふれあい課 井上美晴 殿

活動資金：大学予算

担当教員（所属）：篠原弘亮教授（農学科）

活動体制（単位）：学部

関連教員（所属）：

活動目的：

1. 市民との交流
2. 部活動の成果発表

活動内容・成果：

8月20日（火）アグリサミットでの演奏 レンブラントホテル

9月11日（水）JA厚木 家の光3誌購読者の集い 厚木市文化会館大ホール

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：神奈川県厚木市 JA あつぎ

協定締結日：2018/11/7

活動状況：継続中

連携先窓口：JA あつぎ組織文化部生活ふれあい課 井上美晴 殿

活動資金：補助金

担当教員(所属)：御手洗洋蔵 (デザイン農学科)

活動体制 (単位)：大学

関連教員(所属)：森田茂紀 (デザイン農学科), 平野繁 (農学科ボランティア部顧問)

活動目的：

●目標

JA あつぎと連携して食農教育事業「夢未 kids スクール」を開校して、下記の実施を図る。

1. 参加児童および保護者への農業理解および地産地消の推進
2. 消費者と生産者との交流を活性化
3. 農大生における OJT (On the Job Training) の場として活用

●活動内容・成果

<内容>

JA あつぎが運営する大型農畜産物直売所の一部を教室として利用し、全 10 回のカリキュラムを実施した。そのすべての回において児童のサポートに農大生約 10 名が毎回携わった。

もち米の田植えと稲刈りの回には地元農家の青年部とも一緒に活動し、交流を図ることもできた (写真1)。8月の回は農大カリキュラムといって児童が農大厚木キャンパスに赴き、農大生が一から内容を考えたカリキュラムを実施した (写真2)。また 11 月には厚木市中央公園で開催された JA あつぎ主催の農業祭りに出店し、育てたもち米を児童と農大生のグループで販売し、地元消費者との交流も図ることができ、地産地消推進の一助となることができた。

<成果>



写真1. 地元農家青年部と共に行った田植えの様子



写真2. 8月実施の農大カリキュラムの様子

●課題・改善点

来年度以降も引き続き同様の内容を実施したいが、参加児童の中にはリピーターとなって参加している児童もあり、活動内容がマンネリ化しないよう工夫が必要と考える。